

令和2年度行政事業レビューシート ( 国土交通省 )											
事業名	都市内ラストマイル物流の円滑化にむけた調査検討			担当部局庁	道路局			作成責任者			
事業開始年度	令和3年度	事業終了 (予定)年度	令和5年度	担当課室	企画課 道路経済調査室			室長 田村 央			
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	成長戦略フォローアップ(令和2年7月17日) 総物流施策大綱(2017年度-2020年度)(平成29年7月28日)						
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	貨物の小口多頻度化の進展によりラストマイル物流の需要が増しているが、荷さばき活動は路上で行われている実態があり、バスや歩行者等の安全で円滑な通行を阻害している実態がある。在宅勤務等新しい生活様式を背景にEコマース等小口宅配実績が増加しているなど、路上荷さばきとそれに起因する交通障害の増加が危惧される。そこで、在宅勤務等新しい生活様式を支えるラストマイル物流の円滑化に向けて調査検討し、効果的な調査検討手法や対策の展開を図る。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	コロナ禍におけるラストマイル物流の実態を把握し、国として各地域に効果的な対策手法の展開を図るため、ICT・AIを活用したラストマイル物流の交通実態を把握する新たな調査手法の検討、プローブ情報等ビッグデータの活用による新たな調査手法を実施する地域の検討、民間企業等有するICT・AI等の技術の公募、ラストマイル物流の交通現場における調査の実施、新たな調査手法や効果的な対策の展開に向けたガイドラインの策定等の検討を行う。										
実施方法	委託・請負										
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	0	22				
		補正予算	-	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-	-					
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-					
		予備費等	-	-	-	-					
	計		0	0	0	0	22				
	執行額										
執行率(%)		-	-	-	-						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	-	-						
令和2・3年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由						
	道路交通円滑化推進調査費		-	22							
	その他		0	0							
	計		0	22							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 6 年度
	都市内ラストマイル物流の円滑化に向けた調査検討を全国5地区で検討に着手する		ガイドライン(仮)に基づいて、都市内ラストマイル物流の円滑化に向けた調査検討した地区数		成果実績	地区	-	-	-	-	
					目標値	地区	-	-	-	-	5
					達成度	%	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)		国土交通省道路局調べ(令和2年9月)									
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載										チェック	

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込		
	「(仮称)ラストマイル物流の円滑化に向けた道路交通円滑化ガイドライン」の作成(令和5年度)	活動実績							式	-
		当初見込み	式	-	-	-	-	-		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込			
	-	単位当たりコスト					-	-	-	-
				計算式	-	-	-	-	-	
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	8 都市・地域交通等の快適性、利便性の向上								
	施策	32 道路交通の円滑化を推進する								
	政策評価	測定指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標	目標年度
									-	-
			実績値	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-		
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)					
				-	施策の進捗状況(実績)					
	新経済・財政再生計画改革工程表 2019	取組事項	分野:	-						
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時	元年度	2年度	中間目標	目標最終年度
			-	-		-	-	-		
成果実績			-	-	-	-	-	-		
目標値		-	-	-	-	-	-			
達成度		%	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時	元年度	2年度	中間目標	目標最終年度	
			-		-	-	-	-		
	成果実績	-	-	-	-	-	-			
目標値	-	-	-	-	-	-				
達成度	%	-	-	-	-	-				
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国 必 費 投 入 の 要 求	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	道路交通の円滑化に寄与する。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	各道路管理者が検討指針とする一般的な基準を検討するため
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	道路交通の円滑化に寄与する事業として必要かつ優先度が高い。
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
事 業 の 有 効 性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関 連 事 業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	-	
	改善の方向性	-	
外部有識者の所見			
行政事業レビュー推進チームの所見			
コロナ禍において物流の小口多頻度配送が増加している中、都市内ラストマイルの物流効率化が果たす役割は大きいと考えられる。調査に当たっては、モデル地区の選定、調査結果の普及方策の検討を適切に行うなど、効率的・効果的な調査検討となるよう取り組まれない。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
備考			

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成26年度 -	平成27年度 -	平成28年度 -	平成29年度 -
平成30年度 -			
平成31年度			

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省  
22百万円

業務の発注  
進捗管理

民間企業 1社  
22百万円

都市内ラストマイル物流の円滑化  
にむけた調査検討

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

令和2年度行政事業レビューシート ( 国土交通省 )										
事業名	有料道路におけるETC専用化等による料金所のキャッシュレス化・タッチレス化に係る経費			担当部局庁	道路局			作成責任者		
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	高速道路課			課長 長谷川 朋弘		
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	成長戦略フォローアップ(令和2年7月17日)					
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	料金収受員が新型コロナウイルスに感染した際、一部の料金所において、ETC専用運用を実施することで機能を確保したところであるが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のみならず、「新たな生活様式」や円滑な交通流の実現、環境負荷の低減等の観点からも、高速道路等においてもキャッシュレス等への速やかな対応が必要。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	新型コロナウイルス感染症に対応し、ニューノーマルな暮らしや経済活動へ対応するため、高速道路等において非接触対策やキャッシュレスの推進を行うことなどを目的とし、必要なシステム構築等に係る経費の補助を行う。									
実施方法	補助									
予算額・執行額(単位:百万円)			平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求			
	予算の状況	当初予算	-	-	-	0				
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計		0	0	0	0	0			
	執行額									
	執行率(%)		-	-	-	-				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	-	-				
令和2・3年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由						
	(目未定経費)	0		「新型コロナウイルス感染症への対応など緊要な経費」として所要の要望を行っている						
	その他	0	0							
	計	0	0							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標年度	目標最終年度	
	ETC専用レーンに誤進入した非ETC車の事後徴収について、車両のナンバープレートを捕捉するなどの合理的な事後徴収システムを構築し、全国数箇所で行実験を実施する。	成果実績								
		目標値								
		達成度	%							
根拠として用いた統計・データ名(出典)										
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック		

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込
	活動実績							
	当初見込み							
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	
	単位当たりコスト							
	計算式	/						

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	8 都市・地域交通等の快適性、利便性の向上							
		施策	29 道路交通の円滑化を推進する							
	測定指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
		実績値	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-		
	新経済・財政再生計画改革工程表 2019	取組事項	分野:	-						
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-		
	目標値	-	-	-	-	-	-			
達成度	%	-	-	-	-	-				
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-				
	所管府省名	事業番号	事業名				
点検・改善結果	点検結果	-					
	改善の方向性	-					
外部有識者の所見							
行政事業レビュー推進チームの所見							
新型コロナウイルスの感染拡大防止のみならず、「新たな生活様式」や円滑な交通流の実現、環境負荷の低減等の観点からも、高速道路等におけるキャッシュレス化は重要だが、アウトカムでもある事後徴収システムの具体的な導入に繋がるよう、効率的・効果的な調査検討に取り組まれたい。							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	-
平成26年度	-	平成27年度	-	平成28年度	-	平成29年度	-
平成30年度	-						
平成31年度							
資金の流れ (資金の受け取り先が何を しているかについて補足する) (単位:百万円)	※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。						
	<pre> graph TD     M[国土交通省] -- 予算配分 --&gt; A["A. 独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構"]     M -- 予算配分 --&gt; B["B. 高速道路株式会社"]     A --- C["システム構築等のための債務の返済"]     B --- D["システム構築等"] </pre>						